

オンライン化実証実験報告

2025年12月6日 永山6丁目自治会・自治会改革プロジェクト

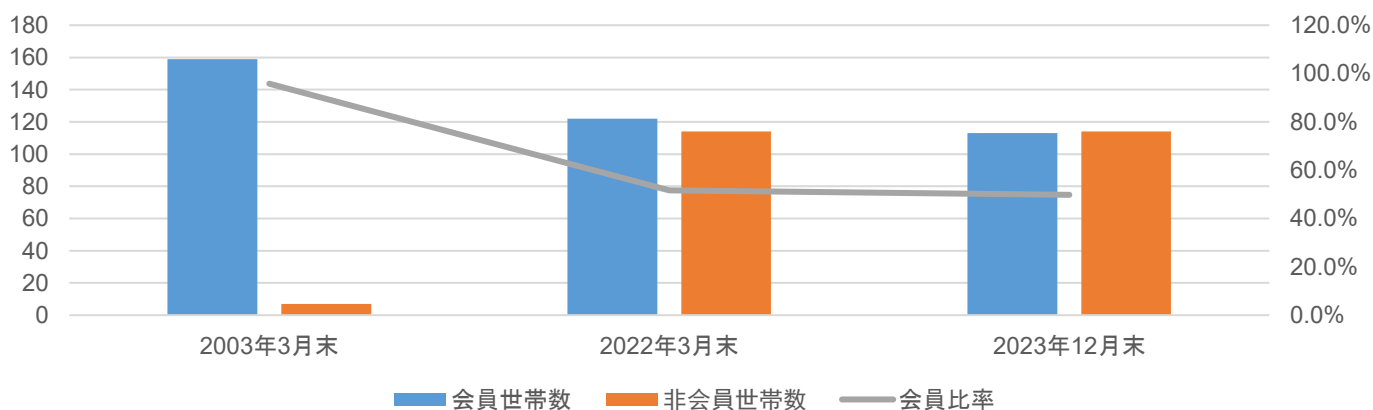
1. オンライン化実証実験申し込みの経緯
2. 自治会改革12項目と進捗状況
3. オンライン化実証実験の進捗状況
4. Yumicomアプリの機能と評価
5. オンライン化実証実験の課題
6. オンライン化実証実験の成果
7. 今後の課題

永山6丁目自治会の現状

— 会員数の減少と加入率の低下

- ・昭和59年5月(1984年)に自治会設立。世帯数約230世帯。
- ・戸建て住宅中心だが、民間マンション、学生向けアパート、障がい者通所施設、企業事業所、店舗があり、高齢化率29.5%の地域。
- ・会員数の減少と加入率低下が課題 *** 自治会加入率50%以下に！**

自治会会員数と非会員数、加入率の推移



1. オンライン化実証実験申し込みの経緯

- ・2024年 2月：自治会改革プロジェクトを立ち上げ
12項目の改革に着手
 - * 改革項目の一つとして自治会運営アプリ導入**
- ・2024年 3月：臨時総会を開催 「班編成の変更」
と「役員任期の変更」を決議
- ・2024年 4月：新体制で自治会運営スタート
- ・2024年 7月：自治連オンライン化実証実験公募に応募
- ・2024年10月：オンライン化実証実験開始

オンライン化実証実験開始後の 主な自治会活動状況

- ・2024年10月:秋祭り➡実行委員会方式で開催
- ・2025年 1月:どんど焼き➡ 実行委員会方式で開催
- ・2025年 5月:定期総会開催➡班長制度導入と組織改訂案及び規約改訂案を決議、自治会運営新体制スタート
- ・2025年 9月:新防災倉庫設置事業取り組み開始
オンライン化実証実験終了
- ・2025年10月:秋祭り➡ 実行委員会方式で開催
- ・2025年11月:Yumicomアプリ利用継続決定

2. 自治会改革12項目と進捗状況

- | | |
|---|--------------|
| ① 改革PJメンバーの編成 | 2024年2月実施済 |
| ② 班編成の変更：7班→5班 | 2024年3月実施済 |
| ③ 役員数の削減：12人→10人 | 2024年3月実施済 |
| ④ 役員任期の変更：1年→2年（毎年半数が入れ替わる） | 2024年3月実施済 |
| ⑤ 新規会員勧誘の取り組み | 継続中 |
| ⑥ 自治会運営アプリの導入 | 2024年10月～継続中 |
| ⑦ 役員の会費免除または役員手当の支給 | — |
| ⑧ 役員の負担軽減：秋祭り等を実行委員会方式で運営。班長制度の導入。オンライン化取り組み。 | |
| ⑨ 役員の担当役割改訂 | 2025年5月実施済 |
| ⑩ 役員の役務のマニュアル化、見える化の推進 | 継続中 |
| ⑪ 会員の世代交代推進 | 継続中 |
| ⑫ 改革推進に伴う規約改訂 | 2025年5月実施済 |

3. オンライン化実証実験の進捗状況

◆Yumicomアプリ登録会員を増やすために.....

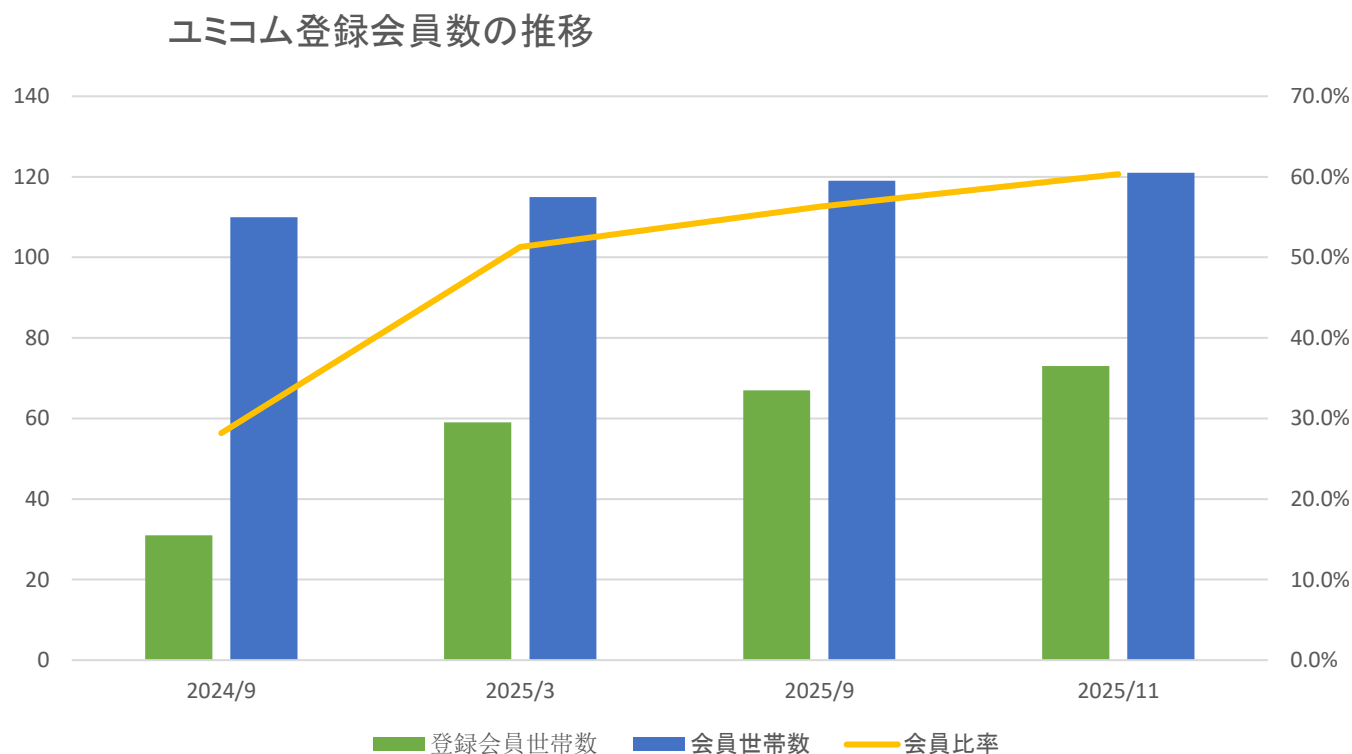
- ・2024年9月以降、自治会会報で毎回お知らせ
- ・2024年9月14日(土): 実証実験説明会開催
- ・2024年9月21日(土): アプリ登録支援
- ・2024年12月25日28日: アプリ登録支援訪問

それで、Yumicomアプリ登録会員数は、増えた？

Yumicomアプリ機能は使い易い？よく使っている？

3. オンライン化実証実験の進捗状況 ー Yumicomアプリ登録会員数の推移

- Yumicomアプリの登録会員数は、少しずつ増加



3. オンライン化実証実験の進捗状況

ー Yumicomアプリ登録会員数を増やすためには？

- 起ち上げ時に止まらず、継続的かつ反復して説明会開催を企画すればよかった.....
- 自治会会報のお知らせだけでは不十分だった.....
- 戸別訪問してのアプリ登録支援は有効だが、訪問者の負担が大きいことと、訪問できる人も限られていた.....

まとめとして....

- ・個別にフォローする機会を数多く作り、継続してアプローチする地道な取り組みが必要だった.....

4. Yumicomアプリの機能と評価

- ・カレンダー機能（リマインドプッシュ通知） ○
- ・デジタル回覧板 ◎
- ・メッセージ機能 ○
- ・みんなの投稿ボックス ○
- ・トークチャット機能 ー
- ・高齢者見守り機能 ○
- ・災害時安否確認情報共有機能 ◎
- ・投票・アンケート機能 ○

4. Yumicomアプリの機能と評価

<デジタル回覧板>

○掲示内容によって閲覧数に大きな差異が出るものの、活用しやすい。

●回覧板の掲載担当、掲載する対象、掲載のタイミング、掲載期間等々、運用ルールを具体的に決めておかなかったため、掲載もれも多く、タイムリーな情報提供が出来なかったケースもあった.....

4. Yumicomアプリの機能と評価

<みんなの投稿ボックス>

- 地域の身近な情報発信をするのに写真付きでタイムリーに発信できる点は有効
- 機能をよく知らない、使い勝手がよくわからない会員が多いため、発信者は一部に限られており、利用拡大に結び付かなかった.....

4. Yumicomアプリの機能と評価

<高齢者見守り機能>

○操作が簡単で毎日のルーティンにしてみると便利で使いやすい機能

●機能をよく知らない、使い勝手がよくわからない会員が多いため、利用者は一部に限られており、利用拡大に結び付いていない.....

4. Yumicomアプリの機能と評価

<災害時安否確認情報共有機能>

○操作が簡単で外出時も登録家族 会員単位で
スマホで安否確認が出来、安否確認情報の把握が容易な点は、災害時に有効。

●11/10～11/16に災害時モード設定し、安否確認情報の回答訓練を実施したが、回答者は46.1%に止まり、機能をよく知らない、使い勝手がよくわからない会員が多いと推測.....

4. Yumicomアプリの機能と評価

ー 活用状況まとめ

まとめとして、、、

- Yumicom会員登録はしたものの、日常的に利用、閲覧している会員が少ない.....
- Yumicomにログインすること自体を忘れてしまった会員が少なからずいる.....
- 今後、登録会員が日常的に利用できるようになるまで定期的に継続してスマホの使い方支援に取り組む必要がある

5.オンライン化実証実験の課題

◆永山6丁目自治会側の課題

- ・1年間の実験スケジュールを未設定で進めた点は、見通しが甘かった.....
 - ・実証実験の推進組織作りをせず進めた点も同様に、組織として積み重ねて行く形にならなかった...
 - ・高齢者向け加入促進対策を予め準備していなかった点は、未加入者が多く残る結果に直結した....
 - ・自治会の他の実行項目との兼ね合いで 取り組み優先順位を最優先に位置付けられない時期があった.....
- ⇒実験開始前の事前準備段階での計画策定が大事

5. オンライン化実証実験の課題

◆Yumicomアプリ運営会社側の課題

- ・実証実験開始前にYumicomアプリ機能、アプリ導入手順、アプリ運用のために必要な体制の説明はあったが、実験開始後のフォローは特にこれといってなかった印象.....

- ・1年間の実証実験期間の節目節目でのタイムリーな助言やフォローをしていただけたらよかった....

(いつ、どのタイミングが節目となるのか、わからないまま1年が過ぎてしまった印象)

- ・メールで問い合わせするとマニュアル的回答にとどまり、他の団体での対応事例紹介とか、こういうケースではこんな風に取り組んでいるところもあります、といった実践例に則した助言をいただけたらよかった....

5. オンライン化実証実験の課題

◆自治連合会及び市側の課題

- ・自治連合会からは実験開始後のフォローは特にこれといった印象.....
- ・1年間の実証実験期間の節目節目でタイムリーな助言やフォローをしていただけたらよかった....
- ・自治会オンライン化を推進をしていることの広報・周知をもっとしていただいてもいいのでは....
- ・行政から自治会会長宛に送られてくるチラシにQRコード設定またはデータ送付いただけるとデジタル掲示板に掲示しやすい

6.オンライン化実証実験の成果

○実証実験参加者が60%に達したことから、会員のオンライン化に対する関心が高まってきていることが確認できた。（1年間という期間設定のお陰。）

○Yumicomアプリを使った会員からは概ね便利で使い易いという評価が得られた。

○実証実験に取り組んで試行錯誤する中で、新しい取り組みを進めようとしている自治会運営側の意図が地域住民に伝わっているという感触、手応えが得られた。

6.オンライン化実証実験の成果

○改革PJメンバーのオンラインミーティング開催を始め、班長グループLINE、自治会役員グループLINEを活用しての連絡やコミュニケーションを図る等、旧来方式にとらわれない取り組みが進んだ。

○新規会員勧誘の際に、オンライン化実証実験取り組みの情報は、効果的で関心を持っていた。

○最大の成果

➡自治会加入会員が10世帯増加
(改革取り組み開始後の1年8ヶ月で)

7. 今後の課題

◆Yumicomアプリ運営会社側への要望

- ①携帯大手4～5社別の最初のアプリ登録マニュアルを作成して欲しい。
 - 携帯機種によってアプリ登録手順が微妙に異なり、登録をお勧めする際に苦労した。現状の説明書では一人で設定できない場合が多い。
- ②会員用と管理者用の簡単な利用マニュアルを作成して欲しい。
 - 一人でスマホを操作して試す人ばかりではない。
- ③管理者への操作説明会、他の利用団体での利用状況を少なくとも当初は2ヶ月～3ヶ月おきに少しずつ解説して欲しい。
 - 一度にすべて理解できる人は少ない。他団体での利用状況情報提供取り組み事例解説はなかった。
- ④Yumicomのいろいろなサービス変更等の事務連絡は、事務連絡専用のページを作って欲しい。
 - お知らせ連絡帳での業務連絡？的なお知らせが管理者向けなのか一般会員向けなのか、情報が整理されていない感じ。

7. 今後の課題

◆永山6丁目自治会としての課題

Yumicomアプリの継続利用と本格運用を推進するために、

1. Yumicomアプリ登録会員の増加に向けた取り組み継続
ー定期的に登録支援、スマホ操作説明会の開催
2. Yumicomアプリ機能の活用機会の拡大取り組み
ーアプリ活用につながる運用ルール作りと周知、コラボ企画推進
3. オンライン化推進体制と組織作り
ーオンライン化推進組織立ち上げ、若手専門人材の参画促進
4. アプリ利用料金の自治会予算枠内での運用検討
ー R8年は東京都の町会・自治会デジタル化推進助成金を活用

最後に、、、

ご清聴いただき、感謝します。

地域コミュニティづくり、持続可能な自治会づくりに取り組む上で、自治会運営のデジタル化推進は、今後ますます重要なテーマになってくるものと思います。

今回、自治連合会が自治連の令和6年度事業としてオンライン化実証実験を企画され、今後の自治会運営に役立つ機会をいただけたことに感謝します。ありがとうございました。

桜ヶ丘3丁目自治会みどり会の皆様には、実証実験を通して交流させていただき、貴重な情報を知ることが出来、毎回刺激を受けました。今後も引き続き、交流を続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。